

第3学年 保健体育科 シラバス

1 教科の目標

- (1) 運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- (2) 体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる。
- (4) 運動を通して、仲間との関わり方やコミュニケーション能力を養う。

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	○学習した基本的な用語を発言したり、書き出したりしている。 ○競技の特性やルール、健康安全について理解している。 ○各種目の基本的な技能が身についている。	・期末考査テスト ・小テスト ・授業への取り組み ・技能テスト
II 思考・判断・表現	○自分に適した課題を見つけることができる。 ○課題に対して、解決策を見いだそうとしたり、書き出したりしている。 ○互いに課題を共有し、具体的なアドバイスをしている。 ○練習の仕方やゲームの仕方を工夫し、ポイントを押さえて運動に取り組もうとしている。 ○考えを他者に理解してもらえるように表現することができる。	・授業への取り組み ・学習カード ・期末考査テスト
III 主体的に学習に取り組む態度	○課題に対して粘り強く取り組む姿勢が見られる。 ○	・行動への取り組み ・提出状況 ・期末考査テスト

3 年間指導計画

学期	1 学期（4 月～7 月）	2 学期（9 月～12 月）	3 学期（1 月～3 月）
単元	・集団行動、スポーツテスト ・陸上競技、ダンス ・水泳、球技 ・体育理論、保健分野	・球技 ・陸上競技 ・体育理論、保健分野	・球技 ・ニュースポーツ ・体育理論、保健分野

4 学習のポイント

【知識・技能】

- (1) 定期考査・小テスト（知識）
 - ・主に学期ごとの定期考査で、種目ごとの基本的な知識やルールが理解されているかをテストする。
 - ・保健は、授業内容を聞き、レジュメやノートにきちんとまとめることができるかを確認する。
 - ・小テストなどは事前に連絡するので、学習の理解を深めているか確認する。
- (2) 授業観察（技能）
 - ・活動の中で、目的に応じた運動（技術）の練習ができているかを観察・評価していく。
- (3) 実技テスト（技能）
 - ・基本的な運動の技術、技能が身についているか実技テストを行い見取っていく。

【思考・判断・表現】

- (1) 課題の発見（思考）
 - ・自身の課題に気付く、自分の目標を明確にして取り組む。
 - ・学習を振り返り、運動のポイントや課題について学習カードなどにまとめる。
- (2) 課題の解決に向けて（思考・判断）
 - ・仲間へのアドバイスやアドバイスをもらったりして、課題を共有し、課題に応じた練習を工夫する。
- (3) 学習カードのまとめ具合（思考・表現）
 - A：学習を振り返り、技能のポイントについてまとめてある。また、自己の課題や問題点に気付く、次への目標が定めてある。
 - B：感想が中心で、学習内容や自己の分析などが十分ではない。
 - C：感想のみ書かれている。
- (4) 発表・表現
 - ・ICT 機器を用いて自分の考えや、グループの意見をまとめ、表現することができる。
 - ・課題解決した結果やまとめた結果を発表する。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・課題発見・解決に向けて粘り強く取り組むことができるようにする。
- ・自分の課題に応じた取り組み方を模索しながら、課題解決に近づくための取り組みができる。
- ・単元ごとに定められたルールを守り活動する。
- ・けがなどでやむを得ない場合、可能な活動に参加する。